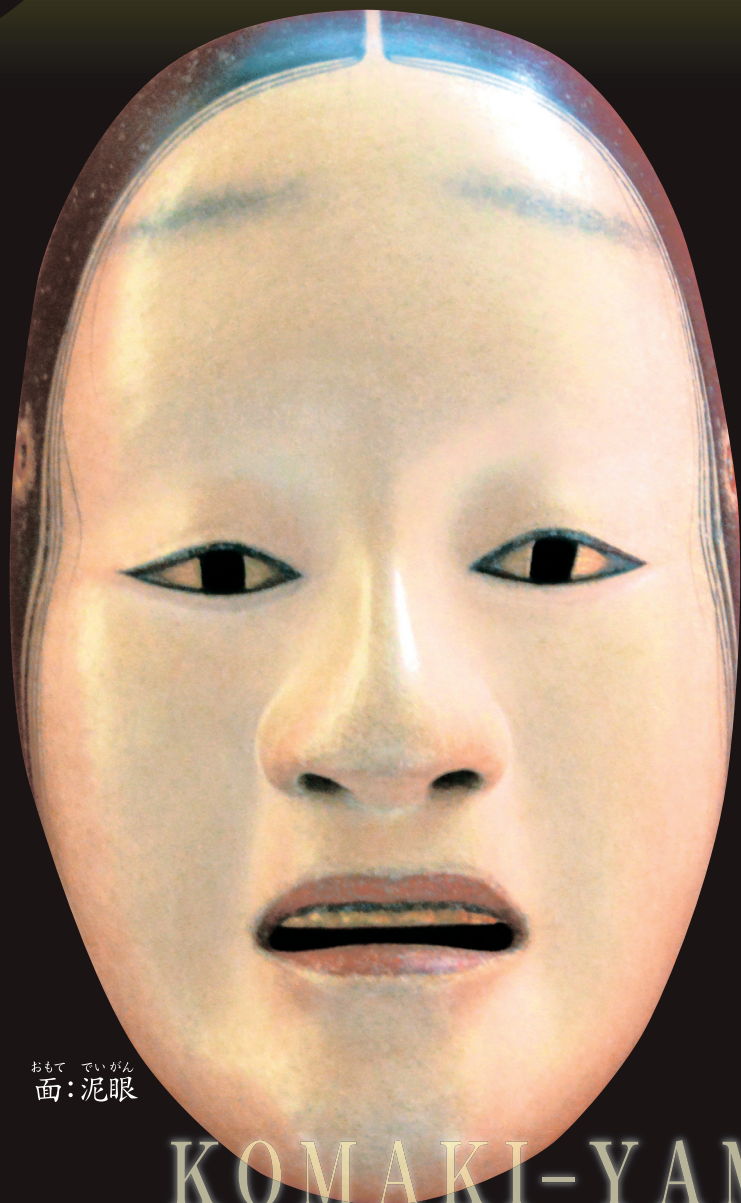


観世流・能 ^{あおいのうえ}「葵上」
和泉流・狂言 ^{しみず}「清水」
観世流・半能 ^{ふな べん けい}「船弁慶」



おもて ^{でいがん}
面：泥眼

小牧山薪能

小牧山文化事業 入場無料

たきぎ

のう

KOMAKI-YAMA
TAKIGINOH

令和5年9月16日(土)
会場／小牧山 史跡公園

(雨天の場合：小牧市市民会館)
※演能中に雨が降った場合は中止になります。

観覧席開場 / 午後4時
オープニング
セレモニー / 午後5時
薪能開演 / 午後6時

主催／小牧市・小牧市教育委員会 企画運営／小牧山薪能実行委員会
共催／小牧市観光協会、こまき市民活動ネットワーク、こまき市民文化財団
後援／中日新聞社、小牧市文化協会、小牧豊山くらしのニュース、小牧商工会議所
協力／公益社団法人能楽協会 名古屋支部

問合せ先／文化・スポーツ課 (0568) 76-1166 (当日の問合せ先／小牧市役所代表 0568-72-2101)

※カメラ、ビデオ、録音機器、携帯電話等による撮影・録音・録画は固くお断り致します。

※薪能会場内への酒類の持込、水分補給以外の飲食はできません。



番組

(午後)			
5:00	オープニングセレモニー 名古屋市長東高校能楽研究部 仕舞 小牧市謡曲連盟 仕舞		
5:45	火入れ式		
6:00	親世流・能「 葵上 」 シテ (六条御息所ノ生霊) ツレ (巫女) ワキ (横川小聖) ワキツレ (臣下) アイ (下人) 笛 鼓 大太鼓 後見	あおいのうえ 梓之出 田久瀬 三津子 瀬橋 正幸 橋本 希津一 桐原 嘉裕 藤村 洋宜 川添 美礼 西澤 雅幸 中山 親勲 山田 旭貴 松本 吉伊	
— 休憩 10分 —			
7:10	和泉流・狂言「 清水 」 シテ (太郎冠者) アド (主人) 後見	しみず 井上 松次郎 今枝 郁雄 鹿島 俊裕	
7:40	親世流・半能「 船弁慶 」 シテ (平知盛ノ怨霊) 子方 (判官源義経) ワキ (武藏坊弁慶) ワキツレ (判官ノ従者) アイ (船頭) 笛 鼓 大太鼓 後見	ふなべんけい 久田 勘道 小橋 幸樹 松本 元樹 山田 義弘 村田 弘介 戸村 命長 河野 長子 鬼頭 久志 川井 親勲 西澤 雅幸 中山 旭貴 山田 吉伊	
8:00	終演予定		

※出演者は一部変更となる場合があります。ご了承ください。

能 葵上(あおいのうえ)

左大臣家では、葵上が物の怪に憑かれたらしく、ひどくお苦しみになられます。左大臣や源氏の君も心配になつて、照日巫女に梓弓にかけて祈禱をなされました。やがて破れ車に乗って怨霊がたちあらわれ、自分を六条御息所と述べ、わが身の情けなさに、さかんに恨みを述べ、葵上の枕頭に立ち、打ち責め苛み、破れ車に乗せて幽界へと連れ去ろうとします。その様子に、左大臣は比叡山横川の小聖という行者を迎えにやります。小聖は他ならぬ左大臣の使いなので、別行の願を破って下つて参ります。(前半)

小聖が真莫三曼多縛日羅赦(チマクサマンダバサラダ)と加持祈禱をはじめると、御息所の生霊が鬼女の面立ちで現れます。生霊と行者の対決。怨念と憤怒の異形の六条御息所。さしもの生霊も行者の法に調伏せられ、成仏します。(後半)

狂言 清水(しみず)

近年世間では茶会が流行っています。主人も流行に乗って茶会を開くにあたり、使用する水(湧き水)を汲んでくるよう召使いに命じます。召使いは日頃からあれこれやと用事を遣わされていて気が進まないで、清水へ行くくと鬼に遭遇して襲われたと嘘をつき、主人から預かった秘蔵の水桶も投げ捨ててきたと言います。主人が水桶惜しさに自ら様子を見に行くと言いますので、嘘がばれては大変と慌てた召使いは先回りをして、とある作戦を企てますが……。

時に人は日々の仕事から逃げ出したくもなるものです。しかしながら召使いは調子に乗って余計な事をしたばかりに、《嘘に嘘を重ねると……》といった教訓の盛り込まれたストーリー展開で、やがて言い訳の破綻を招きます。可笑しみを交えての失敗談として、かつては小学校の国語教科書にも採用されておられ、併せて道徳教育にも通ずるテーマとして取り上げられています。

半能 船弁慶(ふなべんけい)

義経一行が尼崎の大物の浦に着きました。弁慶と義経が相談し、静(しずか)を都へ返そうとしますが、静は本人に確認しようとして、義経のもとへ行きますが、やっぱり都にて時節を待ちなさい、と言われてしまいます。門出の酒宴が始まり、静は舞を舞い、泣く泣く別れ、一行は旅立とうと船を用意します。天候の悪化もあり逗留をという義経の意見を、弁慶は静への未練と考え、翻意を促し船出します。(前半)

海上に出ると風が変わって嵐となります。海上には西海に亡んだ平家一門の亡霊が浮かび上がります。なかでも知盛の亡霊が、義経をも沈めようと襲い掛かります。義経も刀を抜き戦いますが、打物では勝ち目がないと、弁慶が数珠を押し揉んで祈ると、悪霊は次第に遠ざかって、白波に消えていきます。(後半)

出典 能「葵上」(http://www.hisadakan-oh.com/story/001_ainoue.html)
能「船弁慶」(http://www.hisadakan-oh.com/story/034_hunabenkei.html)
狂言「清水」(https://kyogen.co.jp/outline/post_98/)

交通アクセス ※当日は「小牧駅～小牧山」の会場間を結ぶ無料シャトルバスを運行しますので、ご利用ください。(午後2時30分～午後10時30分)約10分間隔で運行します。

名鉄バス	「小牧市役所前」停留所すぐ
こまき巡回バス	「小牧山前」停留所すぐ
名鉄小牧線(名古屋営地下鉄)	「平安通駅」で、地下鉄上飯田線・名鉄小牧線へ乗り換え「小牧駅」
名鉄犬山線	「岩倉駅」下車、名鉄バス(約20分)「小牧市役所前」停留所すぐ
名鉄高速バス(近距離高速線)	名鉄バスセンター(名古屋)乗車(約40分)栄乗車(約25分)「小牧市役所前」停留所すぐ
東名高速道路・名神高速道路	「小牧インター」出口から車で約5分
国道41号	小牧市内「弥生町」の交差点を東へ約600m

※駐車場は台数に限りがあります。
※飲酒運転は絶対におやめください。飲酒される方は公共交通機関をご利用ください。



同日開催 こまき信長夢夜会



史跡小牧山は織田信長が4年間を過ごし、天下統一への足がかりとした信長ゆかりの地です。その小牧山に信長の秋の夜会を再現します。会場内を彩る照明やお花、お酒、グルメ、JAZZ、情熱的なタンゴのステージ、そんな“おもてなし”の数々を皆様も信長に招かれた客人の気分でぜひ楽しんでください。

詳しくは <https://www.city.komaki.aichi.jp>

9月16日(土) 午後3時から午後10時

会場 小牧山 史跡公園 雨天代行
小牧市堀の内一丁目1番地

問合せ先 小牧市シティプロモーション課(0568)76-1172
(一社)小牧市観光協会(0568)39-6123[当日]

音声ガイド

能のセリフや場面の解説を音声ガイドです。イヤホン付FMラジオを貸出します。

解説演目 親世流・能「葵上」 親世流・半能「船弁慶」

料金 500円(レンタル料)+1,500円(保証金)
※保証金はラジオ返却時に返金します。

申込方法 当日、薪能FM ガイドラジオ貸出所(小牧山 史跡公園内)にてお申込みください。

※ガイドは台数に限りがあります。
※都合により、内容を変更する場合がありますのでご了承ください。